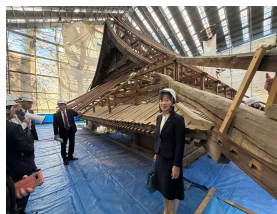


「よいまちつくろう」～^{今回は}現地調査・視察についてご報告します～

県内外の現地調査・視察のうち、5～6月に行った県内の現地調査・視察についてご報告します。
現地調査・視察の際にいただいたご意見・ご要望等も併せて、施策に活かしてまいります。



○県議会文化財等保護推進議員連盟 視察（5月15日）

信濃国一之宮として知られる諏訪大社の上社本宮を視察しました。重要文化財5棟の第3期保存修理工事（令和9年10月まで）が実施されています。かつて諏訪湖は諏訪大社直下まで及んでいたとのこと。地盤沈下が問題となっている神楽殿の、曳家による大掛かりな保存修理作業を視察しました。

○危機管理建設委員会 中南信地区現地調査（6月9-10日）

伊那・松本地域振興局管内の危機管理や、建設及びまちづくり事業等について説明を受け、現地調査を行いました。

【1日目】①国道153号・伊那バイパス道路改築事業②伊那合同庁舎③環状北線街路事業④伊那インター線広域連携整備事業⑤与地辰野線通学路緊急対策事業【2日目】①消防防災航空センター②松本平広域公園陸上競技場建設現場③アルウィン④国道158号松本市狸平トンネル工事⑤大野田梓橋線八景山大橋⑥松本合同庁舎



○改革信州 中信地区現地調査（6月15日）

松本振興局管内の現地調査を行いました。①松本児童相談所（波田）②綿半ファーム（筑北）③落石災害現場（里山辺）④県営かんがい排水事業（波田）⑤波田学院（波田）⑥松本家畜保健衛生所（島内）

【小林陽子プロフィール】2023年4月～長野県議会議員。穂高在住。

「安曇野を子どもたちが誇れるふるさとに」をテーマに田園風景と人の営みが息づく美しいまちづくりを目指す。2016年に夫の実家のある安曇野市穂高にUターン、子育てをしながら米や野菜づくりに家族で取り組む。1971年栃木県生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。趣味はフルート演奏。

発行 小林陽子後援会

事務所 安曇野市穂高 6073-19 番地(安曇野さんさんハウス内)

TEL/FAX 0263-55-7337 e-mail yoko@sunnydayazumino.com

Web ページ <https://www.sunnydayazumino.com/kobayashiyoko.html>

◆Facebook 「小林ようこを応援しよう！」

◆YouTube 「安曇野さんさんニュース」

◆X 小林ようこ(@sunnydayazumino)



Facebook



YouTube



Web ページ



X

安曇野さんさん通信 第33号

～ 長野県議会議員 小林陽子活動レポート ～

2026(令和8)年8月20日発行

連日猛暑が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

8月8日県道槍ヶ岳矢村線(通称・中房線)において土石流が発生しました。幸い人的な被害はありませんでしたが、橋・道路・温泉管が壊れ、影響が出ています。対応にご尽力されている皆様に感謝申し上げます。

9月1日は防災の日。非常持ち出し袋等の避難時の備えを確認し、日頃からご近所の方へお声をかけをいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



中房線 土石流災害現場



県議会での動き～ 6月定例会から報告します～

6月定例会県議会（6月18日～7月3日）は、「暮らしと産業を支える中東情勢対応方針」に係る予算を中心とする108億8287万円余の補正予算や、「長野県人権尊重の社会づくり条例案」等の知事提出28議案と議員提案15議案を審議し、いずれも可決・同意しました。

（補正予算の主な内容）

・制度資金融資可能額の増額等事業者への経営継続支援 ・LPガス1契約辺り2,000円の料金支援等県民生活への支援 ・事業者の省エネ設備等導入支援 ・入院中の子ども付き添い等の環境改善のための施設内修繕等の経費の助成 ・畜産経営体当の運搬車両の導入支援、農業用機械・資材等の導入経費の助成 ・特別支援学校体育館の断熱及びエアコン設置工事設計（令和9年度完了を目指す）

【議員提出第9号「包括的性教育の推進及び性被害対策の拡充を求める意見書（案）」の提案説明をしました】

インターネットやSNSの普及により、子どもや若者を取り巻く環境が大きく変化する中、SNS等を通じた性被害やトラブルの深刻化、低年齢化が指摘されています。子どもや若者が自分自身を守り、他者の尊厳を尊重し、成長段階に応じた正しい知識を身に付けること、多様な生き方や価値観を理解し、困った時には適切に相談できることが必要です。これらを体系的に学ぶのが「包括的性教育」です。

来年、10年振りに改定される文部科学省「学習指導要領」に「包括的性教育」の内容を入れて欲しいという声を、県民、保護者、若者、医療関係者、教育関係者など多くの方からいただきました。

意見書案では「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に基づく人権教育である「包括的性教育」を学習指導要領に位置づけ、学校、家庭・地域での学習機会の充実を図ること、性被害の未然防止と早期発見のための相談支援体制の強化等を国に求めました。採決は記名投票で行われ、自民党県議団以外の議員全員の賛成で可決し、国に提出しました。

